

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：横浜市向台保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：丸井 卓	定員（利用人数）：63名	
所在地：〒240-0045 横浜市保土ヶ谷区川島町734		
TEL：045-371-0106		
ホームページ： <a href="https://www.wam.go.jp/kokodesearch/ANNO10102E15.do?facility=wPnACjFYgATylib9xypJwg==">https://www.wam.go.jp/kokodesearch/ANNO10102E15.do?facility=wPnACjFYgATylib9xypJwg==</a>		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1965年07月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市		
職員数	常勤職員：12名	非常勤職員：22名
専門職員	（専門職の名称）：名	調理師：3名
	保育士：23名	幼稚園教諭：14名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	1歳児室	事務室
	2歳児室	厨房
	3歳児室	更衣室
	4歳児室	トイレ
	5歳児室	テラス

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

自然との関わりを大切にしながら思いきり遊び、自分も友だちも大切に認め合える力を育てます。

## &lt;保育方針&gt;

- 恵まれた自然環境の中で、子どもたちが心も体も豊かに毎日を笑顔で過ごせる保育園を目指します。
- 地域とのつながりを大切にし、地域の方々から親しみを持たれる保育園を目指します。

## &lt;園目標&gt;

自然大好き 自分大好き 友だち大好き 一緒に遊ぼう

## &lt;保育姿勢&gt;

1. 恵まれた自然環境の中で生き生きと遊び、健やかな心と身体を育みます。
2. 自分がかげがえのない存在と感じられるよう、一人ひとりの心に寄り添う保育を大切にします。
3. 友だちと思いを共有し、お互いを大切と思えるような保育を心がけます。

4. 人との関わりを大切にし、豊かな心を育みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

<園として大切にしていること>

- 子どもの人権を念頭に置き、一人ひとりの思いを大切に「子どもファースト」で子どもの気持ちに寄り添いながら保育にあたっています。
- 保護者の方との信頼関係を基に子育てを支え、子どもの成長を共に喜び合うようにしています。ドキュメンテーションや写真の掲示を通じ、園での姿を共有できるよう心がけています。
- 家庭的な雰囲気の中、職員皆で子どもたちのことを見守っています。
- 豊かな自然環境の中で子どもたちが主体的にのびのびと遊び、学びにつながる環境作りを行っています。
- 地域の方とのつながりを大切にしています。七夕の笹をいただいたり、夏まつりのおみこしの応援をしていただいたりと、向台保育園の子どもたちのことをあたたかく見守ってくださっています。また、地域の施設との交流も大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年04月01日（契約日） ～ 2022年12月06日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

⑥総評

【横浜市向台保育園の概要】

●横浜市向台保育園（以下、本園という）は、相鉄線上星川駅から直線で800m程度の近い距離にありながら、丘陵の頂上近くに位置しており、周辺は自然がたくさん残り、春の桜は見事です。また、近隣には横浜市唯一の溪谷「陣ヶ下溪谷」もあり、保育園から「陣ヶ下溪谷」方面には歩行者専用の陸橋が設備され、遊歩道もあり、安全に散歩ができ、自然の中でのびのびと遊べる環境があります。

●本園は、平屋の小さな保育園ですが、地域の人たちに愛され、見守られて44年、向台の保育園として共に歩んできました。昨年、新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍）で中止していた「神輿」を近隣に知らせずに担いで町並を歩いたところ、どう耳に及んだのか、近所の方が「がんばれ」の垂れ幕を用意して祝って下さったというエピソードがあります。子どもたちは地域の方々、職員に見守られ、豊かな環境と共に温かさ溢れる保育園でのびのびと育まれています。本園は来年度から民間移管される予定ですが、向台の保育園としての伝統を大切に受け継いで行かれることを願います。

●園舎は平屋建ての作りで、園庭には砂場と固定遊具が設置され、栽培を行えるスペースの菜園もあり、温かい雰囲気の子どもが過ごしやすい保育園です。定員は69名で1歳児から5歳児が在籍し、延長保育・障害児保育も実施しています。現在、子どもたちと職員は小さな保育園の特色を味わいながら、家庭的な雰囲気の中で保育を楽しんでいます。

◇特長や今後期待される点

1. 【地域における子育て支援の充実】

●公立保育園は地域の中核保育園としての責務を負っています。基本的には指定されたセンター園が中心となりますが、それ以外の園もセンター園に協力し、その責務の一端を担うことになっています。特にここ、向台地区は近くに広い浄水場があり、北には環状2号線が走り、その先が「陣ヶ下溪谷」で独立した地形の地域であることから、他保育

園から独立した環境であり、本園は子育て支援の核として地域の期待も大きくあります。地域も自分たちの保育園として愛着と親近感を抱いてくれています。園長はじめ職員一同はこの地域密着を大切に引き継ぎ、今まで同様の関係を維持したまま民間移管への移行を願っています。現在は移管先との三者協議会で話し合いの最中ですが、古き良き伝統が継承されることを期待いたします。

## 2. 【ノンコンタクトタイムの定着】

●業務の成果を高めるよう、園長は保土ヶ谷区の人事担当者等とのヒヤリングから人員配置分析を行い、庶務事務等システム担当者からは労務状況の把握分析を行い、業務の実効性につなげるよう取り組んでいます。また、保育士のノンコンタクトタイムを導入し、具体的に活動を行い、職員の労働環境の改善に取り組んでいます。さらに、職員の意向を反映させた業務分担、コミュニケーションを密にしながら業務を進捗させ、業務の不均衡防止等に関する取組・実践が定着しています。

## 3. 【異年齢保育を通じた、子どもの主体的な行動】

●本園では、小型園ならではの良さを生かした異年齢保育を計画・実践しています。3歳、4歳、5歳児の幼児3クラスは、1つのフロアをスライディングドアで分けた2部屋で生活しており、1年間の3クラスの組み合わせを、年度の初めは3歳児が1部屋で、夏期には3クラスが合同で、年度の後半は5歳児が1部屋で過ごす工夫をして異年齢交流の環境を整えています。幼児は「3人組の仲良しグループ」を作り、夏の合同生活では、夏の遊びを思い切り楽しみ、共に生活をする中で、興味や意欲が高まり、大きく成長する姿が見られています。乳児も夏の間は1歳、2歳が異年齢での交流を行い、夏ならではの様々な遊びを経験できるようにしています。散歩や活動時には、職員間で連携して活動を計画し、日常的にも異年齢で交流し、クラスの枠を超えて気軽に行き来をしています。異年齢保育を通して職員間のチームワークやコミュニケーション、連携もより密接になっています。

## 4. 【スムーズな民間移行について】

●横浜市の民間移管計画に公表されているスケジュール通り、令和5年4月1日より民間移管が実施されます。民間移管について、計画的に引き継ぎが行われており、既に三者間での話し合いが進み、移管後の園長、主任の写真も園内に貼り出され、保護者への意識の促し等も含め、近々引き継ぎの為に保育に参加する予定も組まれています。地域との関係が良い本園ですので、これまで培った地域との絆、職員の姿勢、子どもたちへの温かい眼差しをいただけるよう継続と、本園の歴史を刻んで行かれることを望みます。

## 5. 【PDCAサイクルのA（Action）の充実について】

●本園に限らず、業務の科学的展開については各園同様に展開を進めています。科学的PDCAサイクルに沿った展開に関して、反省としてはA（=action）の展開が弱いと感じています。園として日、週、月、期、年にしっかりと反省し、課題を抽出（C=check）しているのですが、計画を立てる段階では、ベースが「よこはまの保育」に戻るため、具体的にA（=action）を組み立てにくい傾向があります。各論で改善点は多々実施しているもののA（=action）が見えにくい傾向があります。総論（全体的な計画や年間指導計画）では、組み入れにくいA（=action）を本年の改善目標とする等、具体的なA（=action）に示していくよう工夫が必要と思われます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名	横浜市向台保育園
-----	----------

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

何よりも、自分たちが日頃行っていることをここまで体系的に振り返る時間を持てていなかったのが、全職員が関わり振り返ることができたことは有意義でした。ヒヤリングの場などで、丁寧に聞き取りをしていただきましたが、第三者に対して、自らの保育や施設、業務について言語化し説明することの大切さにも気づくことができました。

保育士同士はもちろんのこと、保育の専門家ではない保護者との情報共有、施設外の方への説明など、今後も自らを振り返り第三者に対して伝える技術を向上させること、また、第三者の視点から気づきを得て、明日に活かす姿勢も大切にしていきたいと考えています。

《評価後取り組んだ事として》

1. 非常勤職員への情報共有の充実を図るために、臨時会議をもった。
2. 民間移管先法人との共有
3. 保育方針の共有のための、乳児会議、幼児会議での細やかな議題設定（生活場面ごと）

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり